

# 菅生社協だより

2014年12月25日発行

第4号

〔発行〕 菅生地区社会福祉協議会

□ 発行者 江國輝郎  
□ 地区社協だより編集部

## 心のふれあいと連帯感を深めながら、 支え合う社会を目指して



### 二十六年度事業推進について



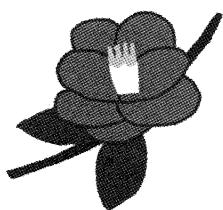
会長 江國輝郎

私たちの菅生地区社会福祉協議会は、設立三年半、予算も少ない中で役員をはじめ会員が創意工夫しながら、少しでも地域福祉のためになればとの思いでやってきました。しかしその歩みや取り組みは遅々たるものです。そのような反省を基に今年度も少しずつやってきました。

を早く見つけて関係者につなぐ、アンテナ役としての活動に感謝しています。

私たちの昨年度の事業で特に取り上げて云えば、民生委員が手一杯の活動の中で、十分に隔々まで目が届きかねるといふ現状が、倉敷市はもちろんな色んな地区で起きている。このことから、「困りごと、心配ごとが無い地域」にしていこうと云うのが社会福祉協議会の願いであり、昨年度「福祉協力委員」制度を立ち上げ一〇七名の方にお願ひし、本年度は一〇五名の方にご活躍していただき、困りごと心配ごと

もう一つ、発足以来八十歳以上の方々に、声かけ・見守りをする訪問事業を行っていますが、本年度は総会で貴重なお意見をいただき、小学校児童全員と幼稚園年長組のみんなに手紙を書いて貰い、声掛け訪問でお渡しし、非常に喜ばれました。感激された方から小学校、幼稚園にお礼の手紙も数多く届きました。会員皆様からのご意見もいただき更に有意義な事業を展開していきたいと考えております。



平成26年度 福祉講演会

# 「認知機能が低下するのは当たり前 その時の対応が大事！」

～認知機能が低下しても困らない街づくり～

片山 禎夫 先生



## 片山先生の講演を聴いて

西田由美子

片山先生のお話は、認知症の種類や原因など医療人としての解説もありましたが、それよりも本人と家族の立場に立ってのお話だと感じました。

認知症の家族の介護を経験した私には、失敗を注意しない、教えない。物事を「忘れて悲しい」ではなく、時に「思い出して嬉しい」と考える。困ったことが困ったことにならない工夫・視点を変えてというお話は目から鱗が落ちるようでした。

そして認知症への理解が進み、早期発見から適切な治療、サポートを受けることで本人や家族の不安が解消され、一緒に笑って穏やかな生活があたりまえのように続けられる街づくり、地域づくりの大切さをあらためて感じました。

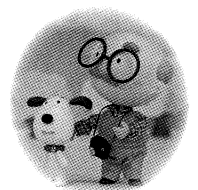


倉敷北高齢者支援センター 篠山 寛史

片山禎夫先生の講演を聴かせていただいて、特に心に残ったことは、『認知症は周りの環境が作り出す』という言葉でした。

認知機能の低下した人が、買い物ができなくなったり、電車やタクシーに乗ることができなくなってしまうのは、今の日本の環境が認知機能が低下してしまった人を受け入れる体制が整っていないことが原因とのことでした。確かに自分の身の回りの環境を思い返してみると、高齢者の施設などでは、受け入れは進んでいると感じますが、施設を一步外に出ると昔のまま、まだまだ理解が進んでいないと感じます。

認知機能の低下している人でも住みやすい社会になることが認知症を減らすことにも繋がっていくことが分かり、高齢者支援センターでも認知症について理解して貰えるような活動をさらに進めていかなければと感じました。



平成26年度 事業計画書

1 会議

総会 理事会 役員会

2 年間事業

(1) 第21回ふれあい体育祭

「学区民の心のふれあいと連帯感の深化」  
第15回コミニティまつり

(2) 「学区内の各種団体の活動紹介と健康  
チェック」

(3) 学区小地域ケア会議

「地域に即した高齢者等の支援体制の調  
整と推進」

(4) 機関誌の発行 第4号

(5) 市社会福祉協議会への協力  
高齢者友愛訪問

(6) 「65歳以上の独居高齢者等への声掛け、  
見守り」

3 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業

(1) 福祉講演会の開催

(2) 「認知症について」  
福祉施設との交流会

(3) 「福祉施設の見学と入所者との交流会」  
高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動

(4) 「80歳以上の高齢者宅を訪問し声掛け、  
見守り」

(5) 独居高齢者への弁当配布や食事会  
「75歳以上の独居高齢者に弁当配布と地  
区公民館での食事会」

(6) 三世交代交流活動  
「ペタンク・ウォーキング・体育祭等」

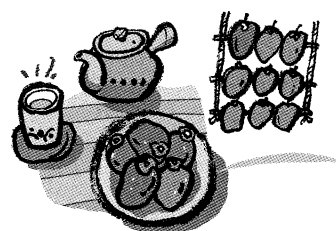
4 その他

平成26年度 収支予算書

(支出) 単位：円			(収入) 単位：円		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
事務費	370,000		助成金	484,000	市社会福祉協議会から
内訳	印刷費	170,000	一律助成金	80,000	
	通信費	20,000	運営助成金	159,000	社協会費実績の20%
	消耗品費	130,000	福祉活動助成金	95,000	共同募金実績の10%
	会議費	50,000	メニュー事業	150,000	5メニュー事業
事業費	240,000	5メニュー事業	活動費	30,000	コミュニティ協議会から
内訳	福祉講演会事業	45,000	事業収入	0	
	高齢者施設事業	30,000	雑収入	100	利息等
	高齢者訪問事業	60,000	繰越金	238,978	平成25年度から
	弁当配布事業	55,000	計	753,078	
予備費					
	143,078				
計	753,078				

菅生地区社会福祉協議会役員名簿

会長	江國 輝郎	前コミュニティ協議会副会長
副会長	江國 耕輔	コミュニティ協議会会長
〃	小山紀美子	民生・児童委員協議会会長
〃	藤本 幸子	愛育委員会会長
庶務	赤場 重美	下西坂公民館会長
〃	貝原 速雄	民生・児童委員協議会副会長
会計	光畑久美子	青少年を育てる会菅生支部長
理事	山地 佳雄	三田町内会長
〃	高倉 正男	花の街町内会長
〃	村上 恵子	栄養改善協議会
〃	西原 正喜	老人会連合会会長
〃	西田由美子	交通安全母の会会長
〃	山内 宣夫	菅生地区保護司
〃	津島 敏雄	交通警察協助力員
〃	守安 瑞穂	北中学校PTA副会長
〃	間野 文章	菅生小学校PTA会長
〃	丸石 三枝	菅生幼稚園PTA会長
〃	今田 俊明	生坂ハイッ町内会長
〃	秋庭 泰治	浅原町内会長





# 平成26年(第15回) コミュニティまつり

ピエロ突撃隊



お土産もらったよ!!!

いろいろお話を  
してくれてピエロさん  
ありがとう

## 開会式



まじゆな顔してきてます

## 民生児童委員会コーナー



お茶を飲みに来てよ

子ども達が来たかな?

## バルーンアートコーナー

## 親子クラブ 杉の子 北児童センター



お魚いっぱい  
つれたよ

ポップコーンはいかが～  
おいしいですよ!!

## 愛育委員コーナー



今日の血圧は  
高いかな??

行列いっぱい!!

血流測定

## 栄養改善協議会



今年の試食は何かな?

うどん食べてネ!

## 北児童センター



2014.11.16

ふなっしーもきたよ!!

## 交通部会



交通ルールが  
変わったよ!!

規則を守って  
いこうね

## 試食コーナー

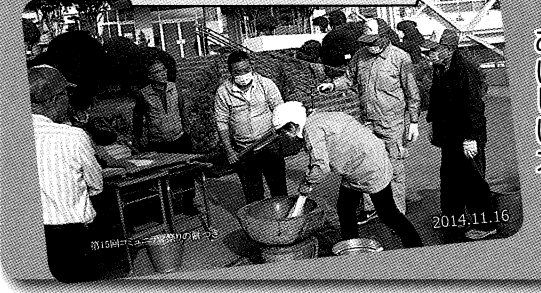


## 消費学級



バザー品たくさん  
売れるかな?

## お餅つき



姫の餅  
しっかりのひで  
おいしいナ!



## 菅生地区3世代交流 ペタンク大会開講

平成26年度菅生学区老連事業としては最大とも云える3世代交流ペタンク大会も今年3回目を迎え、早くから諸準備を進め学区内から町内会・老人会・子供会まで参加して頂きました。生憎の雨で順延になり心配しましたがトランプもなく、11月30日(日)上西坂公園グラウンドに於いて、盛大に開催する事が出来ました。これも、上西坂ニコニコ会・菅生団地管寿会の皆さんのご協力と、菅生学区コミュニティ協議会・菅生地区社会福祉協議会の共催とさせて頂き、昨年を上回る延べ130人参加の盛り上がりがあった大会となり成功裏に無事に終える事が出来ました。関係者一同感謝をもちってお礼に代えさせていただきます。有難うございました。

菅生学区老連 会長 西原 正喜



## 独居高齢者の食事会

菅生地区社会福祉協議会では、菅生学区コミュニティ協議会・菅生学区桃花会(旧菅生学区コミュニティ女性部)・菅生地区民生児童委員協議会・愛育委員会の皆様のご協力を頂き学区内75歳以上の独居高齢者の方々に、年2回

お弁当のお届けと、地区の公民館でのお食事会を実施しています。平成26年度は、

10月28日(火)、下西坂・浅原・祐安・青葉団地・菅生団地・生坂ハイツの各公民館に、その地域の独居高齢者をお迎えし、地区社協の役員、民生児童委員、愛育委員、高齢者支援センター、各地区の町内会長が出席し一緒に食事をしながらお話が出来ました。また地域の皆さんのご協力により、二胡の演奏やフラダンスの披露もあり、輪投げを楽しむ方もおられたり、その他の軽いゲームもありご参加頂いた皆様にはご好評を頂きました。(写真は二胡の演奏を聞く参加者)



## 栄養改善協議会の活動について

毎月1回、定期的に民主会館で料理講習をしています。献立は、高血圧予防食・骨粗しょう症予防食・野菜たっぷりメニュー・減塩メニュー・糖尿病予防食・郷土の伝統料理など身近な材料で健康に留意したものであります。また、毎年、親子料理教室・男性料理教室なども実施しています。独居高齢者のためのお弁当作り、コミュニティまつりなどの地域の行事などにも参加しています。料理講習はどなたでも

参加できますので、関心のある方は、気軽に声をかけて下さい。

菅生学区栄養改善協議会

会長 森本 信子

## 施設 研修

地域の皆様方には、大変お世話になっております。菅生地区民生児童委員会では10月24日地区内にある新しくできた施設や事業所を研修をかねて見学させていただきました。地域の方々から相談されたとき、情報提供が素早く出来るように実施しました。

今回の見学先は七か所でした。

- ・松月(在宅有料老人ホーム)
- ・グループホーム倉敷楽々苑(認知症対応型共同生活介護施設)
- ・倉敷楽々苑(小規模多機能型在宅介護施設)
- ・はじめのいっぽ(輝)(就労継続支援B型事業所)
- ・メデイカ倉敷(医療サービス付き高齢者住宅)
- ・めやす箱(グループホームめやす箱・短期入所・ブルーキヤンバス)
- ・ラ・ナシカ倉敷(特定施設入居者生活介護施設(有料老人ホーム))

施設の方々には、わかりやすく丁寧に説明していただき本当にありがとうございました。今後の活動に役立つものと信じております。

菅生地区民生児童委員協議会

会長 小山紀美子

菅生学区小地域ケア会議事務局より

## 詐欺に注意!

小地域ケア会議では、委員を通じて、  
「最近、地域で訪問販売や怪しい電話が増えている」  
と地域の声が挙がり、悪質商法の出前講座を行いました。

【不審な電話や訪問者には注意しましょう!】

もしも怪しい電話や訪問者があったときは…

**「いりません!」**

とハッキリ断りましょう。

気づかず被害にあっ  
ていませんか?



被害にあったとき、町内で啓発をしたいときは消費生活センターへご連絡下さい。  
〈出前講座は公民館等で実施することができます〉

消費生活センター（倉敷市役所内） TEL 426-3115

先月末の木曜日夕方のこと、自宅に電話があり家内が受話器をとった。「ゴホッ、ゴホッ、オシ、おれだけど困ったことになった。職場で言い争いになって相手に手を出してしまった。」

ゴホッ、ゴホッ。(おえつする声) おれの職場から電話は入ってないかな。ゴホッ、ゴホッ。俺は扁桃腺もはれて熱が出ている。ものが言いにくいのだ。(立てないほど苦しそうな声)「家内は心配して「ヤスヒロなの、ヒロシなの」と尋ねても声が返ってこない。もう一度「ヤスヒロなの」と尋ねると「うーん」「やーん」とうめき声のみ。今度は「ヒロシなの」と聞いても「うーん」と言うだけ。息子二人のどちらともとれる声だったが、きつと長男の方の声だろうと最初判断した。よく家に来る息子たちなのに、こういうときは親は慌てて分からなくなる。

翌朝長男宅に電話すると、嫁が出て

「それはどういふこと、ヤスヒロさんは仕事へ行きましたよ。熱も何もないでね」と。

もしかしたらあの声は二男だったかもと思い、電話して同じことを尋ねた。

「何のこと、元気だよ。」と本人が答えた。ここで、これはおかし

菅生学区小地域ケア会議事務局より

# サギにひっかかるといじわるだった

菅生コミュニティ会長

江国

耕輔

いぞ! 昨夕の電話はサギ師だったのかと気づく。近い内にサギ師はきつと金を要求してくるだろうと家内は考え、警察にも連絡した。

翌日の午後、かかってきた。私が出た。

「昨晩のことを奥さんから聞かれましたか」

「ちょっと聞くのは聞いておるが」

「お父さん、実は争いになった相手が今日職場に来ていないぞうだ。息子さんが謝りに行きたいと言っている。相談に乗ってあげたいのだが少々金が掛かる。放っておいたら警察沙汰になるかもしれない。でも息子さんは今金がないと言っている。お父さん、何とかすぐ助けてあげられないだろうか」

私は、電話の相手に「何が起きようとも自分のことは自分で始末するよ」といつも言い聞かせてある。警察に行こうがどうしようが自分で始末しなければならぬ。お金の融通は一切しない。」と言い切った。

すると「自分の子どもを見捨てるのか。わたしは瀬戸内海の村上水軍の末裔じゃ。村上水軍ゆうたら知つたらどうが」と。

「村上水軍なら知っている。こっちは山賊の子孫じゃ。」と言い返してやった。

この話を二男にしたら「相手をからかってはいけない。電話番号も住所も知ってかけているのだから」と私に言った。





平成25年度 事業報告書

1 会 議

総 会（5月18日）・理事会（5月8日）  
役員会（8回）

2 年 間 事 業

- (1) 第20回ふれあい体育祭（11月3日）  
「学区民の心のふれあいと連帯感の深化」  
第13回コミュニティまつり（11月16日）
- (2) 「学区内の各種団体の活動紹介と健康  
チェック」
- (3) 学区小地域ケア会議（6回）  
「地域に即した高齢者等の支援体制の調  
整と推進」
- (4) 機関誌の発行（12月25日 第3号）
- (5) 市社会福祉協議会への協力（随時）
- (6) 高齢者友愛訪問（随時）  
「65歳以上の独居高齢者等への声掛け、  
見守り」

3 営 生 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 メ ニ ュ ー 事 業

- (1) 福祉講演会の開催（10月5日）  
「岡山弁再発見」
- (2) 福祉施設との交流会（7月21日、12月1  
日）  
「特別養護老人ホーム浅原桃園夏祭  
り、餅つきと入所者との交流会」
- (3) 高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動  
（9月上旬）
- (4) 80歳以上の高齢者宅を訪問し声掛け、見  
守り
- (5) 75歳以上の独居高齢者へ弁当配布と地区  
公民館等で食事会（10月29日、1月28日）  
三世代交流活動
- 「いきいきウォーキング」（6月10日）  
三世代ペタンク大会（11月23日）  
ふれあい体育祭（11月3日）

平成25年度 収支決算書

単位：円

収入		科目	決算額	摘要
	助成金		486,000	市社会福祉協議会から
内 訳	一律助成金	80,000		
	運営助成金	159,000		社協会費実績の20%
	福祉活動助成金	97,000		共同募金実績の10%
	メニュー事業	150,000		5メニュー事業分
	活動費	30,000		コミュニティ協議会から
	事業収入	0		
	雑収入	31,081		利息等
	繰越金	276,682		
	計	823,763		

単位：円

支出		科目	決算額	摘要
	事務費		315,975	
内 訳	印刷費	171,430		地区社協だより、コピー代等
	通信費	4,560		切手、はがき代等
	消耗品費	100,735		体育祭賞品、用紙等
	会議費	39,250		お茶、ジュース等
	事業費	219,589		5メニュー事業
内 訳	福祉講演会事業	39,199		講話と懇談
	高齢者施設事業	36,575		訪問と交流会
	高齢者訪問事業	59,773		声掛けと見守りの友愛訪問
	弁当配布事業	51,174		独居高齢者への弁当配布等
	三世代交流事業	32,868		ウォーキング、ペタンク等
	予備費	49,221		
	計	584,785		

収入 823,763 - 支出 584,785 = 238,978円 次年度繰越金とします。

編集後記

当協議会は、4年目に入り既に3・四半  
期を終わろうとしています。計画してい  
た年間事業と5つのメニュー事業も関係  
者の皆さんのご協力ご支援により、無事こ  
なしてゆけそうです。

地区社協は、地区住民の福祉の向上のた  
めになればと願ひ、皆さんで作った会  
です。各種の事業には多くの皆さんのご参加  
をいただいております。本年度  
後3ヶ月ですが、まだまだ来年、再来年と  
続けて更に多くの方々に参加をいただき、  
より地域の絆を深めていけたらと願って  
います。

本号の編集会議で「今年もやってきたこ  
たー去年と余り変わらんけど何とかなま  
めにやーいけまーが」と言いながら編集し  
ました。

内容には、もう少し皆さんからのご意見  
などを入れたいと考えています。どうぞお  
気軽にご投稿をお寄せください。

心のほっと  
サポーター

1人で悩まないで!!  
聞かせてください

- ◆藤本 幸子  
TEL: 462-7405
- ◆小山紀美子  
TEL: 425-2547
- ◆大村 庸子  
TEL: 422-2490